

香川県令和6年度相談支援従事者現任研修

# インターバル実習①の手引き

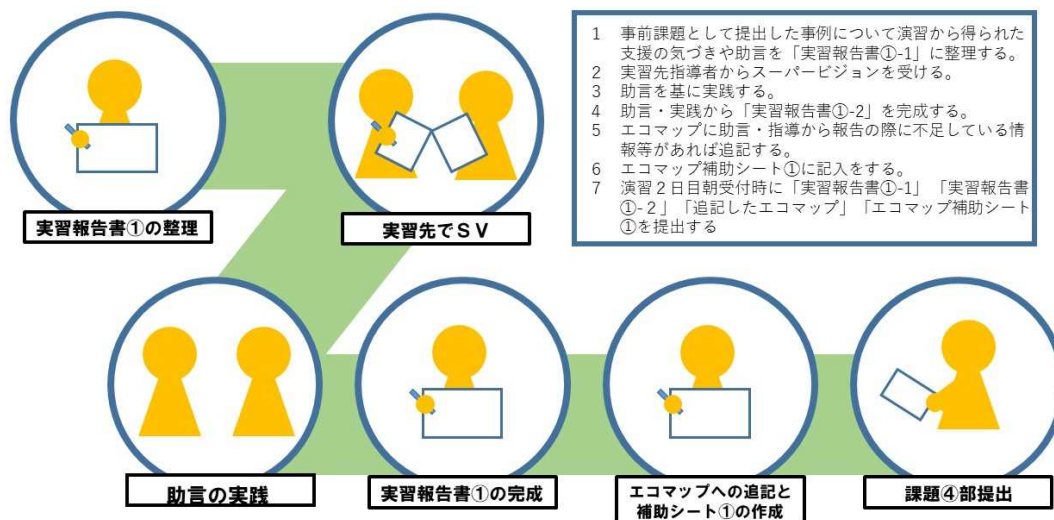
(受講者用)

## 目次

インターバル実習①の概要	1
1 インターバル実習①の獲得目標	1
2 インターバル実習①期間	2
3 実習先への持参物	3
4 インターバル実習①の注意点	4
5 実習終了後の課題提出	7
6 実習先事業所一覧	9

## インターバル実習①の概要

### 現任研インターバル実習①の流れ



- 演習で助言された内容や自身で気が付いたことを実習報告書に整理する
- 演習内で整理された支援について、具体的にどのように行うか実習先でスーパービジョンをうける
- SVの助言や自身で気が付いたことを基に実践する
- 実践の結果を報告書に記載し完成させる
- 演習2日目(7月10日)に実習報告書を提出する  
※要項に記載があるように、インターバル実習及び実習報告書の提出は本研修カリキュラム修了要件のひとつです。

#### 1 インターバル実習①の獲得目標

- ①他者にケースを分かりやすく説明することで、自己支援の振り返りを行う機会とする。
- ②スーパービジョン(SV)により他者からの助言・指導を受け、他者からの多角的な意見により視点が広がり、アセスメントが深まることを改めて理解する機会とする。
- ③改めて地域の相談支援員と繋がり、研修後も継続して助言等が受けられる始まるの機会とする。
- ④相談支援に活用する地域資源について改めて理解する機会とする。

## 2 インターバル実習①期間

【インターバル実習①期間 6月5日(水)～7月2日(火)】

### ①日時の決定

圏域が指定する日時に従ってください。どうしても都合がつかない場合は、実習先事業所へご相談ください。

圏域の指定がない場合は、個別に日時を決定するため、受講者から実習先へ連絡します。

受講者から実習先事業所へ連絡をし、上記の実習期間の中で実習指導日を決めます。

その場合何について助言が欲しいかを予めイメージしておいてください。

※実習先も忙しいのでアポがとりにくい場合が多いので、早めに連絡を取って実習指導日を決めましょう。日程調整の際には、事前に下記「②実習」に記載したことを熟読し書類作成・助言の実践・書類完成にかかる時間を予想して日程調整を行いましょう。

圏域別実習情報（令和6年度）

圏域	日時	会場
大川圏域	実習①は6月17～20日の期間で実施 日時・時間については各自で実習先へ連絡して調整 ※実習②日時・時間については各自で実習先へ連絡して調整。「協議会参加」については7/9(火)午後 前倒して実施	障害者生活支援センターましみず 生活支援センターのぞみ 協議会会場は各自で調べる
小豆圏域		
高松圏域	実習①②ともに各自で実習先へ連絡して調整 ※実習②「協議会参加」7/12AM（運営部会）、 7/18AM（相談支援事業所部会）、7/26AM（発達障害 部会運営委員会）、7/30PM（就労支援部会）のい ずれかに参加。どこに参加するかを各自が実習①で 報告	各自で実習先へ連絡して調整 協議会会場はいずれもリハセンター
中讃東圏域	実習① 令和6年6月6日(木)11:00～12:00ケースSV 実習② 令和6年8月1日(木) 9:30～11:00協議会事務局会議見学 11:00～12:00協議会の説明	坂出市役所 3階 中会議室2
中讃西圏域	実習①②ともに各自で実習先へ連絡して調整 ※実習②「協議会参加」については前倒して7/9 (火)か7/19(金)かのいずれかに参加。	各自で実習先へ連絡して調整 協議会会場は各自で調べる
三観圏域	実習①②ともに各自で実習先へ連絡して調整 ※実習②「協議会参加」については7/23(火)に参加。	各自で実習先へ連絡して調整 協議会会場は各自で調べる

### ②実習

6月4日の演習を受け、6月5日(水)～7月2日(火)の間で次のことを行います。

- (1)圏域の実習日の指定がない場合は、自分から実習先事業所へ電話をして日程を決める。
- (2)実習報告書①の整理
- (3)実習先に書類を持参し、実習先で指導を受ける
- (4)SVの助言や自身で気が付いたことを基に実践する

(5)実践の結果を報告書に記載し完成させる

※期日までに実習ができなかった場合には修了証書は発行できません

※要項に記載があるように、インターバル実習及び実習報告書の提出は本研修カリキュラム修了要件のひとつです。

### ※インターバル実習②前倒し

インターバル実習②は7月11日～8月1日という期間となっていますが、実習②の課題の一つである「協議会参加」がその期間でかなわない圏域もあります。

そのためその圏域では実習期間前に協議会へ参加してください。

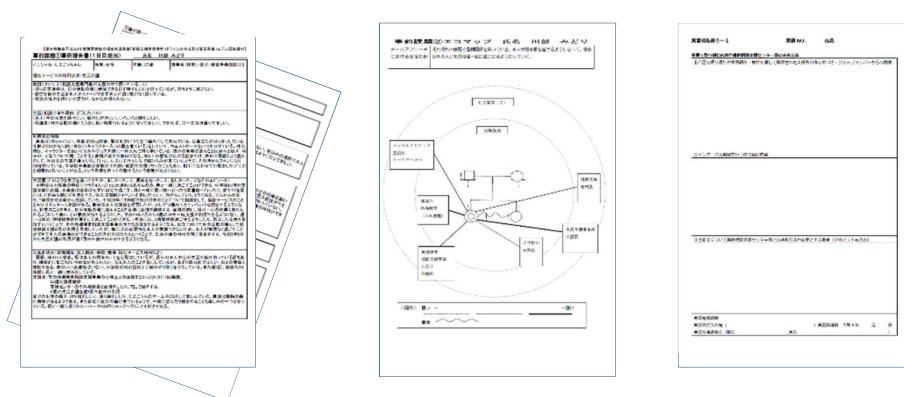
もう一つの課題「相談支援体制」については実習期間中に実習先で実施してください。

実習②課題のひとつ協議会参加について

圏域	協議会参加日
大川圏域	協議会参加【前倒し】 7/9(火)午後に参加
小豆圏域	
高松圏域	実習②期間内に下記協議会のいずれかに参加する。(ただし日頃参加している部会以外の部会に参加。) どこに参加するかを各自が決めて、実習①実習先を訪問した際に報告すること。 ※実習②「協議会参加」7/12AM(運営部会)、7/18AM(相談支援事業所部会)、7/26AM(発達障害部会運営委員会)、7/30PM(就労支援部会)のいずれかに参加。どこに参加するかを各自が実習①で報告
中讃東圏域	実習②期間内(8月1日)に実施
中讃西圏域	協議会参加【前倒し】 前倒しして7/9(火)か期間中の7/19(金)かのいずれかに参加。
三観圏域	実習②期間内(7月23日)に実施。

**高松圏域**についてはどこの部会へ誰が参加するかを把握するため、実習①で実習先事業所へお邪魔した際に「●月●日の●●部会へ参加する」と必ずお伝えください。

### 3 実習先への持参物



- ①事前課題1 事例報告書
- ②事前課題2 エコマップ
- ③実習報告書①-1

※①②は2部（実習先指導者用、自分用）を準備して訪問する。指導を受けた後に必ず回収すること。

※③は手書きでもデータ入力により作成しても構いません。様式のデータが必要な場合は、香川県立川部みどり園ホームページからダウンロードして使用してください。

香川県トップページ → 組織(部署)から探す → 健康福祉部 川部みどり園

URL <http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/etc/sec/sec19631.shtml>

- ④筆記用具

#### ※エコマップについて

実習指導を受けた後、その助言を实践し、提出していただいた「事前課題2 エコマップ」に修正・加筆をして、提出していただきます。ご自身が作成したエコマップに下記のチームアプローチの視点があるかどうか確認の上、実習でSVを受けてください。

#### 【チームアプローチについて】

本人中心支援を推し進めるため、本人の多様なニーズに対し、多様な人材が集まり協働を通じて相乗効果を生み出すチームアプローチ（多職種連携）で大切なのは、「どのような顔ぶれが参加しているか」です。多くは介護・医療・福祉・行政が中心となりますが、NPO 団体や地域団体（例：町内会、消防団、ボランティア団体等）が加わっていることもあります。それぞれの団体・法人の顔となる人が参加している場合もあれば、個人的な「ゆるやかなネットワーク」で集まっている場合もあります。

インフォーマル（地域のありふれた資源）を知り、活用する視点が重要となります。よって、他職種多領域、インフォーマルな方々がチームにいることが望ましいのです。

（現任研修資料より抜粋・編集）

## 4 インターバル実習①の注意点



実習報告書①の整理

### ●実習報告書①の整理

事前課題として提出した事例について演習 1 日目のグループ討議から得られた支援の気づきや助言、取り組む内容、実習先のアポイントメント、共有方法や何を必要としているかを「実習報告書①-1」に整理する。

困難な事例の支援方法解決という事例検討が研修目的ではありませんので、予めご了解ください。

実習報告書①-1	
受講 NO.	氏名
実習で取り組む内容や基幹相談支援センター等の共有方法	
①自己の振り返りや実践報告・検討を通して確認された支援者自身の気づき・グループメンバーからの助言	
②インターバル期間で行う取り組み内容	
③上記②について基幹相談支援センター等との共有方法や必要とする助言（アポイントも含む）	
指導者確認 実習受け入れ先（ 実習指導者署名（職名）	氏名
実習指導日 令和6年 月 日	

予め受講者が記載しておきます。

予め受講者が記載しておきます。

受講者が書く必要はありません。

## ● 実習先でSV



### 【①実習先事業所へのアポ】

圏域の指定がない場合は、必ず受講者自身から実習先事業所へ連絡をして、アポイントメントをとる。

### 【②日程調整】

実習先事業所には課題を持参するため、課題作成の時間も考慮して日程調整を行う。

### 【③実習指導者への説明】

実習先で指導を受ける際に、自身のケース概要を伝えながら、自己の支援を振りかえる。短時間（7分程度）で次の点について伝えることが出来るよう準備する。

(1)事例の概要(状況を簡潔に)      (2)演習で確認された支援の課題

(3)グループ検討の中で見出された必要とされる支援

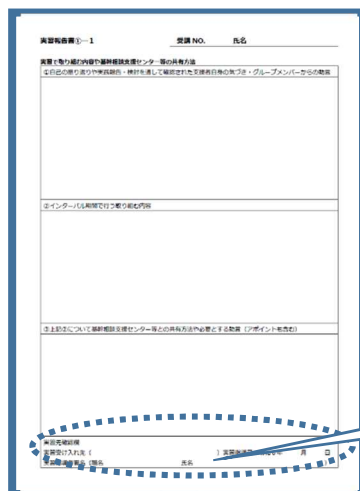
(4)実習で行ってくる内容・必要な助言

### 【④実習先指導者からスーパービジョンを受ける】

このスーパービジョンは演習1日目にて経験した「個別支援に関する意思決定支援」の具体的なアプローチやそれを実現する「チームアプローチ」に特化したものになる予定です。困難ケースの事例検討を行い、答えを出してもらうものではありません。他者からの多角的な意見により視点が広がり、アセスメントが深まることを改めて理解し、助言・指導は素直に受け止める。

### 【⑤証明書への署名】

持参した「実習報告書①-1」に実習先指導者に署名してもらう。



指導後に、指導者に署名してもらってください。



## ●助言の実践



指導者から受けた助言やS Vで自身が気が付いたことを基に実践する。

## 【実習報告書①の完成、事前課題2エコマップへの追記、エコマップ補助シート①の記載】



助言・実践から「実習報告書①-2」を完成する。

演習2日目で行う「実習指導を受けて考えたチーム支援での共通目標の立て方、多職種連携の  
手続き手順や関係性、チームにおける意思決定支援など、チームアプローチの展開について」  
の報告のために、提出した事前課題2エコマップに不足している情報等があれば、赤字で追記  
する。

エコマップ補助シート①に記入をする。

## 5 実習終了後の課題の提出



### 【提出期限】

演習2日目(7月10日(水))の朝受付時

### 【提出物】

- ①実習先の署名が入ったインターバル実習報告書①-1 原本1部
- ②インターバル実習報告書①-2 原本1部
- ③赤字で追記した事前課題②エコマップ 原本1部
- ④エコマップ補助シート① 原本1部

※①～④の提出課題はすべて原本を提出してください。

※提出する書類はすべて演習で使用します。ご自身用に複写したものを必ずお持ちください。

④については演習時にメンバーとファシリに配布しますので、ご自身含めたメンバー分とファシリ分を複写してご持参ください。

※③を白黒複写する場合は、複写後赤字部分にマーカーでアンダーラインを引いてください。

※会場にコピー機はありませんので、必ず受付までに複写を済ませておいてください。

※提出したインターバル実習報告書①-1 に実習先の確認が記載されていない場合、及びインターバル実習報告書①-1、インターバル実習報告書①-2、追記した事前課題②エコマップ、エコマップ補助シート①のいずれかでも提出がない場合には、以後の研修を受講できませんのでご注意ください。

○問い合わせ先 ⇒ 県立川部みどり園 沼田 TEL:087-885-8600

## 6 実習受入先一覧

圏域	受講番号	受講者氏名	フリガナ	受講者所属	実習受け入れ事業所	実習受け入れ担当者	所在地	連絡先
大川	13	和泉 可奈	イズミカナ	障害者生活支援センターましみず	生活支援センターのぞみ	六車	さぬき市長尾名104-4	0879-52-1351
	14	堀井 智美	ホリイトモミ	障害者生活支援センターましみず	生活支援センターのぞみ	六車	さぬき市長尾名104-4	0879-52-1351
	24	六車 万理	ムクルママリ	就労支援B型事業所 みなとの家	障害者生活支援センターましみず	和泉	さぬき市寒川町石田東甲761-9	0879-43-1104
	32	宮本 恵	ミヤモト メグミ	<無所属>	生活支援センターのぞみ	六車	さぬき市長尾名104-4	0879-52-1351
高松	2	壽 健太	コトブキケンタ	CareHome.るびなす	障害者地域生活支援センターはっと	遠藤	高松市川島東町1914番地1	087-840-3770
	4	宮本 菜奈	ミヤモト ナナ	相談支援センターりゅううん	高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点	川村	高松市福岡町二丁目24番10号 福祉コミュニティセンター高松東館2F	087-880-7012
	7	八木 ひろみ	ヤビヒロミ	相談支援事業所おりがみ	高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点	川村	高松市福岡町二丁目24番10号 福祉コミュニティセンター高松東館2F	087-880-7012
	8	植田 幸恵	ウエタ ユキエ	社会福祉法人 銀河の会 ミルキークワイ	障害者生活支援センターりゅううん	富田	高松市仏生山町甲2436番地1	087-815-5266
	9	浅野 佐久良	アサノ サクラ	相談支援事業所ごーさぼ	障害者生活支援センターたかまつ	宮本	高松市田村町1114番地	087-815-0330
	17	横井 淳一郎	ヨコイ ジュンイチロウ	地域生活支援センターこだま	障害者生活支援センターあい	藤井	高松市前田東町585-21	087-847-1021
	20	安田 準一	ヤスダ ジュンイチ	相談支援センターベントス	障害者生活支援センターりゅううん	富田	高松市仏生山町甲2436番地1	087-815-5266
	25	石井 寛也	イシイヒロヤ	相談支援事業所ウェルネスサポート	地域生活支援センターこだま	武	高松市木太町1997番地3	087-802-2660
	26	宮脇 淳一	ミヤワキ ジュンイチ	障害者相談支援事業所すりいーえむ	地域生活支援センターこだま	武	高松市木太町1997番地3	087-802-2660
	27	清水 浩之	シミズヒロキ	相談支援センターキラキラ	障害者生活支援センターたかまつ	照下	高松市田村町1114番地	087-815-0330
	30	森野 昭美	モリノ アサミ	あじの里地域生活支援センター	地域生活支援センタータリマ	河崎	高松市牟礼町原883-16	087-845-0335
	33	竹本 和枝	タケモト カズエ	COMPASSサポート	障害者生活支援センターたかまつ	照下	高松市田村町1114番地	087-815-0330
	34	井上 裕一	イノウエユウイチ	SCC相談支援センター昭和町	高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点	森川	高松市福岡町二丁目24番10号 福祉コミュニティセンター高松東館2F	087-880-7012
	35	西岡 佑太	ニシオカ ユウタ	高松市障がい者基幹相談支援センター	相談支援事業所 ライブサポートセンター	池田	高松市岡本上新開60-1	087-815-7877
36	猪熊 利哉	イノクマ トシヤ	相談支援事業所 ライブサポートセンター	障害者地域生活支援センターはっと	遠藤	高松市川島東町1914番地1	087-840-3770	
中讃東	1	漆原 美紀	ウラシハラ ミキ	中讃地域生活支援センター	ファイン	佐伯	坂出市府中町323	0877-48-3400
	19	谷本 里紗	タニモト リサ	相談支援事業所わかたけ	中讃地域生活支援センター	藤田	坂出市加茂町700-13	0877-56-3200
	29	檀原 雪美	ダンハラ セツミ	障害者生活支援センター ピア	わかたけ	藤本	坂出市川津町1826-18	0877-59-0582
中讃西	3	兼若 樹里	カネワカ ジュリ	コンパスサポート丸亀	ふらっと	大西（主任）	普通寺市文京町2丁目1番4号 普通寺市総合会館2F	TEL 0877-64-0705 FAX 0877-64-0706
	6	金児 千春	カネコチハル	社会福祉法人琴平町社会福祉協議会	ふじみ園	大坪	丸亀市東坂元3667番地	TEL 0877-98-3163 FAX 0877-98-3126
	11	石橋 美恵子	イシハシ ミエコ	香川県ふじみ園	はなぞの	山田（主任）	丸亀市梓原町116	TEL 0877-21-5712 FAX 0877-21-5712
	12	山崎 領子	ヤマザキ リヨコ	PlanCenterKOA	野の花	原岡（主任）	丸亀市飯山町 東坂元字橋見1987番地1	TEL 0877-98-3945 FAX 0877-98-1740
	18	松原 美和	マツハラ ミワ	医療法人社団三愛会 指定相談支援事業所 はなぞの	ふらっと	大西（主任）	普通寺市文京町2丁目1番4号 普通寺市総合会館2F	TEL 0877-64-0705 FAX 0877-64-0706
	23	大坪 淳子	オオツボ ジュンコ	社会福祉法人香川県社会福祉事業団 香川県ふじみ園相談支援センター	野の花	原岡（主任）	丸亀市飯山町 東坂元字橋見1987番地1	TEL 0877-98-3945 FAX 0877-98-1740
三観	10	西谷 良佳	ニシヤノ リョウカ	地域生活支援センターありあけ	障害者生活支援センター結	高木恵子	三豊市高瀬町株佐股乙443番地1	0875-74-7211
	16	須藤 亜由美	スドウ アユミ	障害者生活支援センター結	地域生活支援センターえがお	小西マリ子	観音寺市坂本町1丁目1番6号 観音寺市社会福祉センター1F	0875-25-7752
	21	熊川 宏美	クマガワ ヒロミ	障害者生活支援センター結	地域生活支援センターえがお	小西マリ子	観音寺市坂本町1丁目1番6号 観音寺市社会福祉センター1F	0875-25-7752
	22	尾崎 康介	オザキ コウスケ	社会福祉法人 観音寺市社会福祉協議会	障害者生活支援センター結	高木恵子	三豊市高瀬町株佐股乙443番地1	0875-74-7211
	28	篠原 増男	シノハラ マサオ	生活介護ばかばか	障害者生活支援センター結	高木恵子	三豊市高瀬町株佐股乙443番地1	0875-74-7211

実習で取り組む内容や基幹相談支援センター等の共有方法

①自己の振り返りや実践報告・検討を通して確認された支援者自身の気づき・グループメンバーからの助言

②インターバル期間で行う取り組む内容

③上記②について基幹相談支援センター等との共有方法や必要とする助言（アポイントも含む）

実習先確認欄

実習受け入れ先（  
実習指導者署名（職名

）実習指導日 令和6年 月 日  
氏名

実習期間に取り組んだ内容・効果・基幹相談支援センターとの連携

<p>1-②の取り組みとその効果</p>
<p>基幹相談支援センター等との共有内容や助言等</p>
<p>実習期間の気づき（考察）</p>

## チームアプローチ（多職種連携）エコマップ報告補助シート①

①【事例提供者からの報告】（演習2日目までに記載しておく）

ケース概要の振り返り（100文字で）

チームアプローチにおける支援方針（課題実習②エコマップからの転記）

インターバル実習で得たチームアプローチについての助言

チーム支援で困っていること

利用者と地域資源（人）及び社会資源（人）との関係性（エコマップの説明）

相談支援専門員と地域資源（人）及び社会資源（人）との関係性（エコマップの説明）